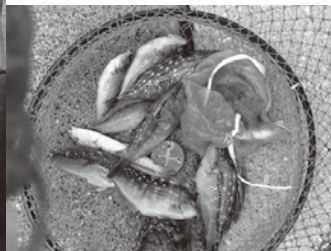




7/27



(上) 思い思いの場所で釣りを  
楽しむ参加者たち。(左) 魚が  
釣れて嬉しいな。(下) どんな  
魚が釣れたかな？



(上) ポウルにスポンジケーキや果物、生  
クリームなどを入れて作る「トライフル」。  
(右)「リッソール」と「ジャケットポテト」  
が完成。うまくてきたかな。(右下) 楽しく  
調理。カメラに素敵な笑顔が写る。

7/20



7月6日にオーストラリアの魅力  
を市内で講演したルイーズティン  
ディルさん(オーストラリア出身)。  
今度は、ハンバーグのような「リッ  
ソール」と「ジャケットポテト」、ク  
リスマスなどで食べるケーキ「トラ  
イフル」というオーストラリアの料  
理を指導。オーストラリア料理に興  
味があって参加したという木原砂羽  
さん(小方小4年生)は「ハンバー  
グを焼くのが難しかったけど、外国  
の人と仲良くなれたから楽しかった  
です。また参加したいです」と笑顔  
で感想を話してくれた。  
今回の国際料理教室には、参加者  
が25人で、そのうち6人が小学生。  
とてもにぎやかで楽しい料理教室と  
なった。

## ワイワイ楽しく、 料理de国際交流

総合市民会館



7/22

## 無数の花火が夜空を飾る

小瀬川大和橋下流

今年も「大竹・和木川まつり花火大会」が開催さ  
れ、約19,000人の観客が、夜空を飾る約4,200発の  
花火に魅了された。本通りは夕方早くから浴衣を着  
た人たちにぎわった。花火の打ち上げが始まると、  
拍手や歓声があちらこちらで上がり、観客は夏のひ  
とときを楽しんだ。



(左) 夜空を飾る鮮やかな花火。  
(下) 会場では、灯ろう流しも  
行われ、小瀬川は幻想的な光に  
包まれた。

## あたたでつくる 夏の思い出

阿多田島

夏の暑さが日に日に増す頃、あた  
た愛ランドで釣り大会が開催され、  
市内外から78人が参加した。

船で島に着くと、参加者は思い思  
いの場所で釣り糸を垂らした。魚が  
釣れて喜ぶ人、大物がなかなか釣れ  
ず悔しがると、それぞれが島で  
の時間を楽しんだ。

市内から参加していた浦野遥河く  
ん(小方小4年生)は、「初めて参加  
しました。魚が釣れて嬉しかったで  
す。」と話してくれた。

終わりに、大人には鯛が、子ども  
には花火が参加賞として配られ、参  
加者はたくさん釣った魚とともに、島を  
後にした。



(右) 初めて参加の浦野遥河くん。暑い中、  
魚を釣り上げ、満足顔。



(上) 子どもの部第1位、小田詩恩  
くん。(右) 大人の部第1位、井上  
安奈さん。魚も賞品も大漁だ。



(上) 参加者最年長、91歳の植木武博さんに、  
がんばったで賞。



# みんなで楽しむ夏の夜

## 大竹駅前商店街

夏の恒例行事、土曜夜市「つながりん祭・きてみん祭」が行われ、商店街は約7,000人でにぎわった。大竹駅前商店街振興組合代表理事の田宮裕朗さんは「土曜夜市は50年以上続く恒例の行事となり、多くの方が毎年楽しみにしている。土曜夜市を通して、お客様に対する感謝の気持ちを伝えたい」と話していた。

日が暮れるにつれて、たくさん子どもたちが商店街に集まり、射的や金魚すくいなどを楽しんだ。また、ステージでは、市内グループによるダンスなどが披露され、魅力溢れるステージに観衆からは大きな拍手が送られた。今年は広島てっぱん同盟（庄原焼き、備後府中焼き、尾道焼き）の出店もあり、会場はさらに盛り上がった。

市内から参加の中尾貴代美さんは「毎年来ています。ゲームがたくさんあって子どもが喜んでいきます」と話してくれた。



(上) 商店街は多くの人でにぎわった。(右) 夏はやっぱりかき氷。冷たくておいしい。



(右) かわいいダンスで観衆を魅了した。

8 3



(左) ボールすくい難しいな～。(下) 初出店の広島てっぱん同盟。ご当地グルメに多くの人が舌鼓を打った。



8 7



小路さんの話を熱心に聞く参加者たち。

## 人権擁護を考える

### ゆうあいホーム

介護現場における人権擁護について考えてもらおうと、広島法務局民事専門官の小路重雄さんによる講演会がゆうあいホームで行われた。市内で介護現場に従事する17人が参加し、虐待の疑いがあるときの対処法、施設内での虐待の現状や原因について学んだ。小路さんは人権意識を高めるキーワードとして、「わかっている」とできるの違い、「自分の権利から他人の権利へ」、「相手の立場で考える」を挙げ、参加者に介護現場の人権擁護を訴えかけた。